

ヴィレッタ田向 第1回 地域連携推進会議議事録

開催日時 令和6年10月24日(木) 14:30～17:30

開催場所 田向生活館、ヴィレッタ田向

出席者 地域連携推進委員 4名

① 大阪 マリィ ② 大清水 香織 ③ 大西 祥子 ④ 葛西 忍

ヴィレッタ田向 職員 8名

① 吉田 京子理事長 ② 管理者 川村 謙一 ③ サービス管理責任者 細越 玲子
生活支援員 ④ 林 幸基 ⑤ 大場 信和 ⑥ 橋本 光政
世話人 ⑦ 戸田 キミ子 ⑧ 花生 真理子

記録者 橋本 光政

1. 開会

- ・サービス管理責任者 細越が開会を宣言

2. 理事長挨拶

- ・理事長 吉田が挨拶を行う

3. 辞令交付

- ・地域連携委員4名に理事長が委嘱状を交付

4. 出席者紹介

- ・出席者全員が挨拶(自己紹介)を行う

5. 地域連携推進会議の目的・内容について

◎管理者川村から地域連携推進会議の目的について説明を行う

- ・今回の会議開催が1回目であることに基づき、議題としては『会議の趣旨、内容の確認』であることを述べた。

- ・地域連携推進会議が設置されるにあたっての経緯、法的根拠についての説明
- ・障害者支援施設や共同生活援助は外部の目が入りづらく、事業運営が外部にみえづらい、という課題

題があることについての説明。

◎続いて 管理者川村から地域連携推進会議の内容について資料を基に説明を行う

・地域連携推進会議とは？

地域連携推進会議の目的、内容についての説明を行い、その効果についても述べた。

目的→利用者と地域との関係づくり

→地域の人への施設等や利用者に対する理解の促進

→サービスの透明性・質の確保

→利用者の権利擁護

内容→施設による会議の開催

→構成員による施設訪問

効果→利用者 質の高い支援が受けられる

事業所 地域で運営がしやすくなる

・会議の開催

会議の目的を達成するため、『目的に沿った議題』を設定する、『構成員と双方向で意見交換できる議題を設定することが望ましい』ことについて説明

また、会議の議題例についても具体的に挙げて（『施設等やサービスの透明性・質の確保』『施設等と地域の連携』『利用者の権利擁護』）、事例としてヴィレッタ田向と地域との連携部分などに触れて話をした。

・会議の構成員

会議の構成員については、『利用者』『利用者家族』『地域の関係者』『福祉に知見のある人』『市町村担当者』などを想定していること、さらに『利用者』『利用者家族』『地域の関係者』は必ず選出することが必要な事について説明した。

今回の会議構成員の方々がそれぞれどの立場から選任されたかについて説明。

・構成員の役割

会議構成員の役割として『会議に出席して、施設と情報共有・意見交換を行い、施設のことを知っていただくとともに施設と地域のつながりづくりを期待されていること（施設等のことを知る。施設等と地域をつなげる）』『施設等の訪問し、施設見学や利用者・職員とのコミュニケーションを通じて、施設等の環境、利用者・職員の様子等を確認して、利用者や職員とのつながりづくりを期待されていること（利用者、職員とつながる）』の2点について説明。

・施設訪問の実施、確認するポイント

施設訪問の目的（職員・利用者との関係づくり、事業所の環境や事業運営の確認）、確認ポイント

（施設的环境、利用者・職員の様子）について説明をした。ポイントについては、更に具体例を挙げて説明。

6. 共同生活援助（GH）の説明

◎管理者川村からパンフレット資料を基に説明を行う

・共同生活援助とは？

『共同生活援助』についての説明、及び共同生活援助の種類として、介護サービス包括型、日中サービス支援型、外部サービス利用型、サテライト型の4種類あることと、それぞれの違いについて説明した。ヴィレッタ田向は介護サービス包括型であることも説明。

・ヴィレッタ田向についての説明

ヴィレッタ田向のパンフレットを配布、ヴィレッタ田向の概要について説明した。

（設立年月日、定員、面積、基本方針、職員配置、サービス料金、利用者の方々の日中活動など）補足として、利用までの流れについても触れて説明した。

食事の写真（朝・昼・夜をそれぞれ2枚ずつ、計6枚）を配布、献立についても記入して、食事内容を確認していただいた。

『食事提供体制加算』に触れ、栄養士が献立作成に関わることの必要性（令和6年度法改正の変更点）についても説明した。ヴィレッタ田向では県の栄養士会に依頼することについても説明。

・上記の説明について会議構成員から質問は無いか確認、質問は無かった。

7. 施設訪問

地域連携推進委員がヴィレッタ田向を訪問、面談を行った。

◎事前に家族から許可を得ている居室と1階の共用部分の説明見学を細越が対応する

- ・浴室見学では、入浴（支援内容の、入浴回数）について、洗濯室では（洗濯回数、支援内容）についての質問がある。
- ・短期入所について、大清水さんから質問があり短期居室の見学も行う。

◎入所の方と食堂にて面談（対面）

（葛西さん、鈴木さん、大西さん、笹本さん 各自で自己紹介する）

●休みの日は何をしているの？（大坂）

○外泊、外出をする（葛西さん、鈴木）

○季節の掲示物作成、自室で漫画やDVD鑑賞（鈴木）

●お仕事はどんな内容？（大坂）

○リンゴの袋詰め（葛西）

○鈴木さんは伝えられず職員（細越）が八戸東洋でカップラーメンの具材等の作業と伝え頷いている。昼食については「お弁当」（外注と補足）、作業は大変か？に「大丈夫」と答える →後方に居る体に向け、役員の方とは目線も合わせず細越を介して答える。

●みんな仲は良いですか？（大坂）

○イタズラをされるのがちょっと嫌。（葛西）内容について尋ねられ

「お風呂に入っているときに、脱いだ服をカゴに入れていたがぐちゃぐちゃになっていた。靴がいなくなっていた。夜に部屋のドアノブをガチャガチャと触られる。」
のが嫌だ。

●食事は美味しいですか？楽しいですか？（大坂）

○「はい」と返事のみで答える。（笹本、大西）

- ・入所者との面談を大坂さんが主導で行う。以前のぎく園のオンブズマンを行い入所者との面識があり話しやすかった様子。

・職員と食堂にて面談

（生活支援員 林、橋本、世話人 戸田）

※生活支援員 大場、世話人 花生は通常業務

●献立の内容について意見など伺いたい。（戸田）

○主菜、副菜の品数についても良く、栄養についてもバランス良く取れていると思う。（大清水）

●人員配置については？（大坂）

○法律的な配置基準は満たしているが、不足していると思う時間帯がある。（橋本）

●コロナ対応の際は大変だったのでは？（大坂）

○人員不足をなんとかして乗り切った、利用者の方々は体調不良を伝えるのが難しいこともあり、日々注意して様子を見ていた。（林、橋本）

●普段来所しても大丈夫か？（大坂、大清水）

○平日は 15 時以降、土・日にはどの時間帯に来所していただいても大丈夫。
（林、戸田、橋本）

8. 閉会

サービス管理責任者 細越が閉会を宣言